



■ピカソ通信 2003年9月1日号 臨時増刊No.20■

等幅フォントでご覧ください

☆ 本編(Vol.51)は届いていますか? 届いていない方はご一報ください ☆



□◆ ◆□ ■ 特集：“あなたは何色の夢を見ますか？” ■
◇ ◇ ■ 吉沢梅乃「color」発売記念スペシャル ■
◇ ◇

*----- ■ ■ Report ■ ■

◆吉沢梅乃 越谷と横浜でインストアライブ

----- 8月 3日(日) 新越谷駅ビルコンコース広場
8月10日(日) 新星堂横浜ランドマークプラザ店

[[セットリスト]]

OVER SOUL ◇ G.B.YOU ◇ らせんのルール ◇ TIMELESS MELODY
◇ 雨と贊美歌 ◇ ヒリ／ヒリ ◇ アドバルーン ◇ ジェシカ

「FM△」で健闘を見せた梅乃さんがファーストアルバム「color」のプロモーションとして、越谷と横浜でインストアライブを行いました。

先日の決戦でも着ていた、白のカットソーにひらひらとしたトップ。

下は白のジーンズといういでたちであらわれた梅乃さん。

(ちなみに「FM△」の公式サイトに、その決勝の時の写真があります。

<http://www.fm3.info/pc/> から「ライブレポート」のコーナーへどうぞ)

ピカソの森さんのキーボードをバックに、8曲を熱唱しました。

まずは3日の越谷。

JR新越谷駅前「VARIE」の2階「新星堂新越谷駅ビル店」が主催したインストアライブでしたが、店内がもともと手狭ということもあってか、1階のコンコースがライブ会場となりました。

最初、前列で熱心に聴いていたのは、女の子同士で連れ立ってきた小中学生。そのうちライブの音に誘われたのか、駅北口を東西に繋ぐ連絡通路からたくさん人が集まってきた。日曜日のちょっと買い物帰りの家族連れ、カップル、お友達同士でたまたま....いろいろな方々が、おそらくは初めて聴くのであろう梅乃さんの歌声に聴き惚れているようでした。

観客の熱気と、夏の暑さと、照明の暑さすっかり汗だくになりつつも楽しそうに歌う梅乃さんの姿が印象的で、「本当に、人の心を動かすアーチストなんだなあ」と実感した次第。

代わって、10日の横浜ランドマーク。

ここは今年の3月、ピカソがインストアライブを行ったところでもあります。

びっくりしたのはライブの時間が近づくにつれて、集まる人、人、人.....。

「これはなぜだろう?」と思ったのですが、実は彼女、5日にFM横浜の生番組に緊急出演したのだそうです。自身のピアノ弾き語りで

「アドバルーン」を歌ってアピールしたのが、効いたようですね。

ステージ前はかなりギューギューになって、店の外のスピーカーで聴く人も出るほどでした。「FM△」でお馴染みになった「ヒリ／ヒリ」では客席から手拍子も飛び出して、ピアノ1本の伴奏とは思えない熱いステージに。

限られた時間の中、とにかくたくさんの曲を唄った感のあるライブでしたがMCで江ノ島の花火大会に行ったことを楽しそうに話したり、もちろん新譜

「color」もしっかり宣伝。これまでの“初々しいライブ”から少し進んで
“余裕”も感じるようになりました。

二つのライブに共通していたのは、どちらもピーカンのお天気だったこと。
ご承知のように、この夏は何だか夏らしい日が少なかったですが、どちらも
いい天気で向かえることが出来た彼女は、すごい「晴女」だった!!....
ということを発見してしまいました。

◆◇ ファーストアルバム「color」一言レビュー。 ◇◆

梅乃さん自身から、それぞれの曲の解説をしていただきました。
「どの曲も大好き!!」という梅乃さん、「一番がいっぱいあって
決められないんです....」と悩みながらも、ひとつひとつの作品を
自分なりの想いで、語ってくださいました。

◆ 1 ☆ ヒリ／ヒリ

◇ 痛い。でも....頑張るぞっていう曲。
音がキラ／キラ光ってるから、そこで終わりじゃなくって、また1個
始まりっていう....1つずつ乗り越えていこうっていう感じがする。

◆ 2 ☆ OVER SOUL

◇ 「溶ケル」っていう言葉がポイントかな。
いつも固く、悪びれて進んでるだけじゃなくて、こういう気持ち....
たまにはリラックスするのも大事。
いつもそれだけじゃ、ダメだけど(笑)。「たまに」、ネ。

◆ 3 ☆ レモン・ソング

◇ 例えば若い高校生同士みたいな、甘酸っぱい出逢い。
出逢うのが早すぎたなあ....みたいな。
後になってからはそういう風に言えるけど、その時はそうは思えない
し、言えないなっていう、酸っぱい想い出。
皆さんのが少しずつ年齢を重ねていった時、こういう気持ちって絶対
「あるな」って思うのです。これはこれでまた、痛い。
「ヒリ／ヒリ」よりも昔の痛みかな。

◆ 4 ☆ G.B.YOU

◇ 「G.B.YOU」 = 「GOD BLESS YOU」 = 「神はあなたを祝福しています」
いつから嘘をつくことを覚えたんだろう?でもそういうことを言
えるのは、そういう自分に気づいてるから言える訳で。
切ないんだけど、でもそうしないと生きていけないっていう現実も噛
み合わさって、時には原点に戻って自分を見つめ直さないといけな
っていう曲。
どの曲も好きなんだけど、この曲はちょっと、他の曲とは違う想いが
あって。最初、メロディだけ聴いた時、涙が出そうになった。
すごく、何かを感じるところがあって。
眠る前に考え方をしちゃった時なんかに聴いてほしいです。

そしたら眠れるかなー?....って(^o^)

□◆ 5 ☆ TIMELESS MELODY

- ◇ けっこう前の、二人の物語。
「一緒に映画見に行こうね」って言った映画が今はもう終わってる....
とか、あの時一緒に撮った写真、でもあの時着てた服と今はもう違う
....とか。「でもまた、どこかで会えたらいいね」その相手が今、どこにいるか心配....って感じ。
唄いだしてからもうすぐ5年になります。実は私の方が先に唄ってて。
ピカソが後なの(笑)

□◆ 6 ☆ ジェシカ

- ◇ 母になった気持ちで唄ってます。
無理しないでいい、前に進みなさいっていうことしかできない、でも
そうやって言うことで、聴いてくれる人が「おー、行かなきゃ(笑)」
って思ってくれたらいいなって。

□◆ 7 ☆ アドバルーン

- ◇ この詞、好き。率直でしょ?(笑) だから入りやすい。何回か唄って、
で、すぐ録っちゃったんだけど、すごい素直な気持ちだと思う。
テンポも、他の曲とはちょっと違う感じで。
森さんとライブでやらせてもらってる曲の中では一番好き。

□◆ 8 ☆ 雨と賛美歌

- ◇ めちゃくちゃ好き(^o^) イントロの部分から、もう。
唄ってる時、お客様と一緒にゾクってする時があって。「あー、一
緒に感じてるんだなー」って思う。ただ立ちどまって雨に打たれて、
考てる状況....私的に一番好きかも。
「G.B.YOU」とは違った「好き」かな。

□◆ 9 ☆ フシギダ。

- ◇ 「愛と欲望~」の唄い方は、辻畠さんの唄い方そのままです(笑)
この曲に限っては、かなり唄い方を指導されました。
最初はサビ始まりだったんですけど、こっちの方がいいねーってこと
でこうなりました。

□◆ 10 ☆ チガウ夢

- ◇ この曲を手話でやってくれた小学生の子がいて、すごい嬉しかった。
一番始めに唄ってた頃の歌詞と変わってるから、一番始めを聴いてた
人からは「最初の方がいい」って言われることもあるけど。
ここで卒業だったり、ここが出発点で、未来に向かっていこうという
始まりの曲もあるから、春にいいかも。

◆◆◆◆◆
◆ ♪ ◆ ■ あとがき....編集後記に代えて。 ■
◆◆◆◆◆

だいぶ前から、個人的に感じていたものがあって。

梅乃さんのレパートリーのうち、「TIMELESS MELODY」はピカソ、「アドバルーン」はMONOさん、そして「フシギダ。」はRough Diamondsも唄っている曲です。歌詞が新たに書き下ろされた「フシギダ。」はまだともかく、ピカソやMONOさんと同じ歌詞で唄っているはずの2曲が、歌い手によって受けるイメージがかなり違う様な気がして。キーが違うとか、アレンジが違うとか、男性と女性の違いとか、そういう表面的な問題で片付けられるものでは無い様な気がして。何故だろう?....と、ずっと思っていました。

今回、レビューを文字に起こして気がついたのですが、梅乃さん、それぞれのレパートリーに対する考えがすごくしっかりしているな、と思いました。

唄うにあたって、もちろん作者から作品の意味を教えられているとは思うのですが、彼女はそれを自分なりに考え、解釈して、自分なりの言葉で率直に語っているナ....という印象を受けるのです。

それは、単に作者の“言いなり”や“受け売り”では決して言い表せないもの。素朴で荒削りだけど、リスナーの心の奥まで響く、強い言葉だと思いました。だから例えば、同じ「TIMELESS MELODY」の歌詞でも、10代の梅乃さんと40代の辻畠さんが唄うのとは、そこに込めるもの....訴えてくるものが違っても、それがむしろ当然なのかもしれません。

とにかくこの「color」、もっともっとたくさんの方に聞いてほしいナ、と思う
今日この頃。

インディーズ流通ゆえ、店頭で見たことがないという地域もまだまだ多いと思いますが、HMVなど大手CDショップの通販で手に入ります(地域によってはむしろ、それが一番でっとり早いかも)。この内容で¥2,100-は絶対、安いデス。

惜しむらくは(?)、ジャケットの色が一面黄色だったらなあ....
阪神ブームに乗って、目立ったかも(笑)。

☆-----
| \ / | 投稿・ご意見はこちらへ -----
| | | メール : picatsu@gn2.sinfree.net |
| | | フォーム : <http://www.saturn.sannet.ne.jp/picasso/form.html> |

企画・制作 : プロジェクトペリカン
制作協力 : PROJECT PICASSO／メトロノームレコーズ様
(<http://www.pro-picasso.com/>)
バックナンバー・登録解除 → <http://sound.jp/picatsu/>
このメールマガジンは『まぐまぐ』から発行しています。

since 2000 :::: Picasso Newsmail All Rights Reserved.